



2027年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL <https://www.round1-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡本 純 TEL 06-6647-6600
 配当支払開始予定日 2026年9月4日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	51,377	18.2	6,339	4.3	5,267	2.1	3,368	△1.1	3,368	△1.1	4,266	85.7
2026年3月期第1四半期	43,485	7.7	6,076	9.8	5,157	7.6	3,405	0.3	3,405	0.3	2,297	△57.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	12.81	—
2026年3月期第1四半期	12.99	12.96

（注）2027年3月期第1四半期の希薄化後1株当たり四半期利益は、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため、記載しておりません。

当社グループの業績の有用な比較情報として、EBITDA及び調整後EBITDAを開示しております。
 EBITDA及び調整後EBITDAの計算式は以下のとおりです。

EBITDA 計算式：営業利益 ＋ 減価償却費
 2027年3月期第1四半期 17,492百万円
 2026年3月期第1四半期 16,518百万円

調整後EBITDA 計算式：営業利益 ＋ 減価償却費 ＋ 非支出費用
 2027年3月期第1四半期 17,582百万円
 2026年3月期第1四半期 16,560百万円

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	328,319	85,791	85,792	26.1
2026年3月期	309,888	82,635	82,635	26.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	4.50	4.50	4.50	4.50	18.00
2027年3月期	4.50				
2027年3月期（予想）		4.50	4.50	4.50	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	103,730	12.8	15,010	0.4	12,220	△8.5	7,900	△10.8	7,900	△10.8	30.05
通期	219,090	15.6	33,050	14.9	27,450	8.0	18,260	9.9	18,260	9.9	69.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	289,161,942株	2026年3月期	289,161,942株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	26,289,509株	2026年3月期	26,289,269株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	262,872,504株	2026年3月期1Q	262,214,977株

※ 添付される要約四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	3
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報)	7
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇の影響が続いたものの、設備投資やインバウンド需要が堅調に推移したことにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。

他方、世界経済においては、米国の通商政策の動向や地政学的リスク、金融資本市場の変動などを背景に、不透明な状況が続いております。

このような状況の中、日本においては、引き続きクレーンゲームに対する需要が高い傾向であることから、多種多様な景品を取り揃え、売上の向上に努めました。また、様々なコンテンツとの期間限定のコラボキャンペーンの実施、「ROUND1 LIVE」を使ったリモートイベントやお子様・小中学生向けキャンペーンを開催するなど、幅広い年齢層に向けた取り組みを行いました。

米国においては、アミューズメントにおいて様々なオリジナル景品を定期的に導入するなど、売上の向上に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益51,377百万円（前年同四半期比18.2%増）、営業利益6,339百万円（同4.3%増）、税引前四半期利益5,267百万円（同2.1%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益3,368百万円（同1.1%減）となりました。

なお、当社グループが運営する屋内型複合レジャー施設は、長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上収益が増加する傾向があり、四半期毎で経営成績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本)

営業基盤を拡大すべく、2026年5月にさいか屋横須賀店（神奈川県）を新規オープンしたほか、新規店舗の出店準備を進めております。また、アミューズメントにおいて食品や日用品等の景品を中心としたクレーンゲーム専用エリア「とれすぎ〜のアイランド」を6月末時点で76店舗にて展開いたしました。加えて、様々なアニメコンテンツやアーティスト等との期間限定のコラボキャンペーンを積極的に実施することにより、売上の向上に努めました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同四半期比11.3%増、アミューズメント収入は同21.3%増、カラオケ収入は同14.8%増、スポッチャ収入は同13.7%増となりました。

(米国)

アミューズメントにおける当社オリジナル景品の定期的な導入や、様々なコンテンツ等との期間限定コラボキャンペーンを積極的に実施し、顧客エンゲージメントの向上および販売機会の創出に努めました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同四半期比15.2%増、アミューズメント収入は同20.7%増、飲食その他収入は同25.3%増、スポッチャ収入は同7.8%増となりました。

(高級飲食)

ラウンドワンデリシャスプロジェクトの展開準備を行っております。

(その他)

中国においては3店舗体制のもと、引き続き収益構造の確立を努めるとともに、収益獲得に尽力いたしました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ18,431百万円増加の328,319百万円となりました。この要因は、現金及び現金同等物の増加9,228百万円等による流動資産の増加9,170百万円と、使用権資産の減少850百万円、有形固定資産の増加9,989百万円等による非流動資産の増加9,261百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ15,275百万円増加の242,528百万円となりました。この要因は、未払法人所得税の減少2,412百万円、その他の流動負債の増加2,347百万円等による流動負債の増加881百万円と、社債及び借入金の増加13,955百万円等による非流動負債の増加14,393百万円によるものであります。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ3,156百万円増加の85,791百万円となりました。この要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益3,368百万円の計上、配当金1,182百万円の支払等による利益剰余金の増加2,170百万円、在外営業活動体の換算差額904百万円の増加等によるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は26.1%（前連結会計年度末は26.7%）となりました。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	54,950	64,179
営業債権及びその他の債権	3,133	2,304
棚卸資産	6,175	6,606
その他の金融資産	1,719	1,067
その他の流動資産	5,563	6,553
流動資産合計	71,541	80,712
非流動資産		
有形固定資産	89,783	99,772
使用権資産	121,573	120,723
無形資産	1,188	1,273
持分法で会計処理されている投資	2,193	2,219
その他の金融資産	11,076	11,122
繰延税金資産	11,574	11,585
その他の非流動資産	956	910
非流動資産合計	238,346	247,607
資産合計	309,888	328,319

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2026年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	10,527	10,502
社債及び借入金	10,821	12,305
リース負債	28,666	27,934
未払法人所得税	4,295	1,882
契約負債	5,619	5,838
その他の流動負債	6,603	8,950
流動負債合計	66,533	67,415
非流動負債		
社債及び借入金	38,295	52,251
リース負債	110,212	110,753
引当金	7,572	7,577
その他の金融負債	769	607
繰延税金負債	3,338	3,396
その他の非流動負債	530	525
非流動負債合計	160,719	175,112
負債合計	227,252	242,528
資本		
資本金	25,872	25,872
資本剰余金	26,606	26,606
利益剰余金	43,752	45,923
自己株式	△20,006	△20,006
その他の資本の構成要素	6,410	7,396
親会社の所有者に帰属する持分合計	82,635	85,792
非支配持分	△0	△0
資本合計	82,635	85,791
負債及び資本合計	309,888	328,319

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上収益	43,485	51,377
売上原価	35,431	41,374
売上総利益	8,053	10,003
販売費及び一般管理費	1,805	3,610
その他の収益	77	74
その他の費用	248	127
営業利益	6,076	6,339
金融収益	73	255
金融費用	1,072	1,438
持分法による投資利益	79	111
税引前四半期利益	5,157	5,267
法人所得税費用	1,751	1,899
四半期利益	3,405	3,368
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,405	3,368
非支配持分	△0	△0
四半期利益	3,405	3,368
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	12.99	12.81
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	12.96	—

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期利益	3,405	3,368
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対す る持分	4	△6
純損益に振り替えられることのない項目合計	4	△6
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,109	900
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対す る持分	△2	3
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1,112	904
その他の包括利益	△1,107	898
四半期包括利益	2,297	4,266
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,297	4,266
非支配持分	△0	△0
四半期包括利益	2,297	4,266

(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社に経営の意思決定機関を置き、国内外で包括的戦略を立案し、総合アミューズメント事業等を行っております。

当社グループは、従来「その他」に含めていた米国における高級飲食事業については、当連結会計年度内に開業し、今後の事業拡大に伴い重要性が高まることが見込まれることから、「高級飲食」として独立して開示することといたしました。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

従って、当社グループは、「日本」「米国」「高級飲食」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの概要は次のとおりであります。

報告セグメント	主要なサービス
日 本	屋内型複合レジャー施設の運営
米 国	
高級飲食	日本食レストランの運営

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。

なお、セグメント間の取引は、独立企業間価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	日本	米国	高級飲食	計				
売上収益								
外部収益	24,423	18,715	—	43,139	345	43,485	—	43,485
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	24,423	18,715	—	43,139	345	43,485	—	43,485
セグメント利益（△損失） (注) 3	3,646	2,844	△396	6,094	△4	6,090	△13	6,076
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	73
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	1,072
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	—	79
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	5,157

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国（Round One

Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社）並びに高級飲食（Round One Delicious Holdings, Inc. 及びその連結子会社1社）を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益（△損失）は、要約四半期連結損益計算書の営業利益より調整を行っております。

4. 当社取締役会では預金（現金、外貨預金除く）及び有利子負債（リース負債除く）についての報告が実施され、意思決定に使用されております。前第1四半期連結会計期間において、日本セグメントにおける預金35,910百万円、有利子負債44,556百万円、米国セグメントにおける預金7,341百万円、高級飲食セグメントにおける預金2,134百万円であります。なお、在外子会社の預金については期末日レートとは異なる換算レートを使用しているため、報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額で差異が生じております。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	日本	米国	高級飲食	計				
売上収益								
外部収益	28,549	22,561	—	51,111	266	51,377	—	51,377
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	28,549	22,561	—	51,111	266	51,377	—	51,377
セグメント利益（△損失） (注) 3	5,543	1,618	△806	6,355	△15	6,339	—	6,339
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	255
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	1,438
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	—	111
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	5,267

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国（Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社）並びに高級飲食（Round One Delicious Holdings, Inc. 及びその連結子会社1社）を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。
2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益（△損失）は、要約四半期連結損益計算書の営業利益より調整を行っております。
4. 当社取締役会では預金（現金、外貨預金除く）及び有利子負債（リース負債除く）についての報告が実施され、意思決定に使用されております。当第1四半期連結会計期間において、日本セグメントにおける預金43,035百万円、有利子負債64,557百万円、米国セグメントにおける預金10,888百万円、高級飲食セグメントにおける預金2,261百万円であります。なお、在外子会社の預金については期末日レートとは異なる換算レートを使用しているため、報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額で差異が生じております。

（親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）
当第1四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費及び償却費	10,442百万円	11,153百万円